

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	園分寺市立にしまち児童館および西町学童保育所
指定管理者名	株式会社 こどもの森

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
■ 図収支の適正性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年間を通しての収支において適正に執行した。
	協定等に基づき業務が実施されているか	3	西町プラザの特徴を活かし、9月には学童児との多世代交流として敬老行事で利用者へ向け手紙を書きそれを掲示した。12月には地域の方から葉を頂き、地域の団体に協力して頂きしめ縄作りを実施した。3月のひな祭りに合わせて雛人形を飾り、館内を春の装飾で飾りつけ利用者を楽しんでもらった。
■ 業務の履行状況の評価	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	仕様書等で求められた時間を守った。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保されている。また、館長を中心として執行体制が明確になっている。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	4	仕様書で求められた有資格者を確保している。学童においては、放課後児童指導員3名を配置し、非常勤職員の資格取得者も配置した。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	適正に保管している。また、随時必要な報告を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	日々、清掃を行っている。児童館においては、休館日の日曜日は洗濯・お掃除デーとし、トイレ掃除とカバーリングの洗濯、ワックスがけを実施した。学童においては、開所時と児童が少なくなった時間に清掃・消毒を行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	仕様書で求められた点検、検査を適正に実行した。
	利用者の満足度はどうか	4	アンケートでいただいた意見で改善できる点は即改善した。図書室のマンガは子どもたちが読みたいというリクエストのあった物を購入した。日頃から利用者・保護者とコミュニケーションを取り、ニーズの把握に努めている。
■ サービスの質に関する評価	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者からのニーズに応え西町親子ひろばにおいて「おはなしひろば」を実施。系列保育園とのコラボ企画として保育士によるベビーマッサージも実施し多くの乳幼児親子に喜ばれた。児童館においても小学生のニーズに応じてカードゲーム大会やコマ大会、クリスマスビンゴ大会を実施し小学生の来館につなげた。18時以降は中高生タイムを開催し中学生の利用につなげた。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	指定管理者主催のマナー研修に参加するなど、職員のマナーの向上に努めた。保護者に対し、怪我・トラブルなど丁寧に対応した。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	令和5年度はにしまち児童館・西町学童保育所ともにクレームはなかった。ご意見があった場合は報告、内容調査、対策・改善を速やかに実施していく。
	個人情報適切に取り扱われているか	3	関係機関とのやり取りの中で、守秘義務を意識しながら情報の共有を行った。個人情報保護法に基づき適切な取り扱いに保ち、閉館・閉所時に施錠している。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	消防所の職員によるAED・三角巾を使用しての怪我対応・応急処置の訓練を行った。学童においては防犯訓練を実施した。個人情報の取扱いについても施設内で研修を実施した。市、指定管理者の主催する研修に参加した。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	合理的配慮の必要な利用者も他の利用者と同様で児童館を利用出来るようにしている。ツリ利用者の中にはリハビリの子も通もいる。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
	■ 施設の水特性評価に留意した	自然災害等への対応	4
学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について		4	学童においては子どもたちの情報共有や学校施設の利用を通して連携した。保護者に対しては個別に面談を実施したり、電話連絡を行った際に児童の様子を伝え個別面談を依頼している。児童館においては成果発表に応じた遊びの提供を行い、道具も虫見当りなどニーズに応じたものを取り入れた。また学童ではお遊戯の発表や、気になる事件に関しては電話連絡を行い保護者と関係機関を連携した。7月の七夕祭りや12月のしめ縄作りの際には地域の方に材料の提供等の協力をして頂き企画を実施した。
配慮を要する児童への対応について		4	配慮を必要とする児童の特性を職員全体で把握し、児童が過ごしやすい環境を出来るだけ整えた。児童が過ごしやすい環境で保育出来るよう工夫して対応した。学童において食事に際して配慮が必要だった児童に対しては保護者と相談して個別に対応した。食物アレルギーの児童へのおやつは食品の原材料チェックや工程の確認を職員全員で実施し開所のお皿を適用して提供した。毎日の職員ミーティング・懇話で障害児や食物アレルギー児の対応について情報共有し対応を刷新した。
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	子ども同士のトラブル、怪我の対応など1つずつ丁寧に対応した。利用者のニーズを聞き取り、要望の高かったマンガや新しいおもちゃを購入したりした。工作のイベントでは感染症対策を徹底して開催した。小学生からの要望が多かった大会やクリスマスビンゴ大会も実施し、来館につなげた。秋にはプラザまつりが4年ぶりに開催され、ウエストタウンまつりも同時開催して多くの利用者の来館があった。西町学童保育所においては、自主事業として地域の方に協力して頂きながら「しめ縄作り」を実施。動物教室を動物愛護団体に実施してもらい「犬博士」になるなど様々な体験ができるようになった。又、地域の方に喜んでもらえるようクリスマスには園分寺市イマーシブキャラクターふんじほらに来館してもらい写真撮影会を実施したりひな祭りや春の装飾に飾りつけを行ったり、秋には敬老行事で学童から地域の方々に手紙を書いてそれを掲示した。	
		評価者氏名 三川 虎 亜利 奈	

